

歌島橋交差点地下横断歩道における誘導案内方法について(1)

■誘導案内方法について

<課題の整理>

■これまでの意見

- ①人に道を教えようとしても方向を示すのが難しい。地下に降りると方向が分からなくなる。
- ②交差点のセンター軸と地下道のセンター軸がずれているのでわかりにくい。
- ③出口案内が煩雑で施設を見つけにくい。

■歩行者流動調査結果をふまえた課題

- ①御幣島駅及び区役所方面から、UFJ銀行方面（国道2号の地下を横断）へは時間がかかっており、方向を迷っていること等も要因として考えられる。

■ヒアリング（H26. 6. 27）をふまえた課題

- ①地下歩道全体が無機質で、楽しさや潤いなどがなく、記憶に残るようなものもない。
- ②地下歩道に入っすぐ、動線や行き先を示す看板や表示がない。
- ③エレベータ番号ごとに色を変えているが、通行者はほとんど気づいていない。

■現地踏査をふまえた課題

- ①広場への流入部に案内がないため、どちらの方向に進めばよいのか不明確のため戸惑いが生じる
- ②案内板の矢印の角度が現状と合っていないため戸惑いが生じる
- ③出口や施設の方向を示す同様の案内板が多すぎるため戸惑いが生じる

<改善の方針と内容>

■煩雑な出口案内をわかりやすくする

- 現状のラミネート案内板の文字の大型化（文字の大きさにメリハリをつけ、出口番号と主要な施設の文字を大きくする）
→【短期的対策】

■目的地への方向をわかりやすくする

- 天井面の案内板の矢印の角度調整
→【短期的対策】
- 色や目印等による行き先の印象化
 - ・出口部や経路に目印になりそうなものを掲載・配置（行き先のイメージとして記憶に残りそうな看板、花 他）
→【中期的対策】

歌島橋交差点地下歩道における誘導案内方法について(2)

■誘導案内計画

【短期的対策】

○案内板の文字の大型化



【中期的対策】

○色や目印等による行き先の印象化



既存の掲示板を活用し、周辺の保育園や学校等の協力を得て、園児・学生の描いた絵などを掲示

○天井面案内板の矢印の角度調整



案内板の矢印の角度を、歩行者からの見た目の角度と合わせる



イメージ図



各出口や経路に目印になりそうな、区のマスコットや花、ポスターなどを掲示

■実施時期

- ・ 短期的対策については、平成26年度中の実施を予定
- ・ 中期的対策については、短期的対策の効果を把握した上で、平成27年度以降に実施予定

歌島橋交差点地下横断歩道 案内板の改善イメージ(1)

JR御幣島駅出入口より

改善前



改善後



歌島橋交差点地下横断歩道 案内板の改善イメージ(2)

⑧⑨出入口 (ヤナセ側) より

⑩⑪出入口 (UFJ側) より

改善前



改善後

④～⑦出口案内

⑩⑪出口案内



⑧⑨出口案内

④～⑦出口案内



JR御幣島駅
西淀川区役所
出口案内